議案の審議結果

○は賛成　●は反対　議は議長

議案			田中種夫	松浪健一郎	日坂和久	森利夫	野田小百合	小川唯一	石井計次	小峰文夫	松田隆夫	根岸富一郎	中山明美	小鷹房義		審議結果
第4回定例会	町長提出	北部地域活性化基本条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		地域の元気臨時交付金基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議		原案可決
		国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議		原案可決
		社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議		原案可決
		今宿コミュニティセンターの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		平成25年度一般会計補正予算（第3号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		平成25年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		平成25年度介護保険特別会計補正予算（第2号）の議定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		平成25年度水道事業会計補正予算（第3号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		工事請負契約の変更契約の締結（庁舎耐震化等工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		工事請負契約の締結（総合福祉センター入浴施設給湯設備等改修工事）	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
	請願	新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出を求める請願書	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●	○	議		不採択
		「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		採択
	議員提出	特定秘密保護法案を廃案にすることを求める意見書	●	○	○	●	○	●	欠	○	○	○	●	議		原案可決
		道州制の拙速な導入に断固反対する意見書	●	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●	議		原案可決
		容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決
		議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		原案可決

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

一部事務組合報告

※一部事務組合を作って近隣の自治体と共同で事業を行っています。

■坂戸地区衛生組合

10月30日オリックス資源循環㈱彩の国自然循環工場と狭山市浄化センターを視察しました。

受入れた廃棄物は「熱分解ガス化改質方式」により完全に資源化されます。焼却灰・飛灰が一切発生しない最先端のリサイクルのため、埋め立て処分に依存しないシステムです。

狭山市浄化センターは、昭和46年に処理能力一日当り百キロリットルの施設として稼働していましたが、その後施設の老朽化・公共下水道の普及により搬入量の減少、維持管理費の高騰などを踏まえ、事業費11億200万円を要し更新事業を実施しました。

脱臭設備は場内の各設備から臭気を脱臭処理後排気口から排出するため、臭気は感じられません。（小川）

■西入間広域消防組合

9月27日定例会が開催されました。

平成25年度一般会計補正予算・平成24年度一般会計歳入歳出決算認定の2議案が慎重審議の上可決されました。

11月7日議員研修視察がされました。帝国繊維㈱鹿沼工場では消火活動に欠かすことができない消防用ホースや特殊ホースの製造工程を視察、その後西入間広域消防組合と坂戸・鶴ヶ島消防組合との間で進めている「消防通信指令業務共同運営」について、先進事例である熊谷市行田市消防指令センターを視察しました。（日坂）

■毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

11月6日議会議員研修視察が開催されました。

深谷市の「荒川上流水循環センター」を視察。下水処理後荒川に放流している状況、汚泥処理機器の視察効能等の説明を受けました。午後は太平洋セメント熊谷工場を視察。セメントを造る工程のロータリーキルンと言われる回転窯の焼成過程を視察。ほとんどの廃棄物は高温で焼成され、無害化し大量にリサイクルしていました。

私たちの生活から排出される都市ごみの焼却灰や産業界からの廃タイヤ、廃プラスチック、自治体からの下水汚泥等従来は処理の難しかった物を資源として活用していました。

廃棄物をセメント原料や燃料として再利用し、循環型社会の実現に向け、たゆまぬ努力を続けている工場と受け止めました。（森）

■広域静苑組合

10月28日、東京都西多摩郡瑞穂町の「瑞穂斎場」を視察致しました。規模は火葬炉が8炉、式場は大式場・中式場・小式場の3か所です。駐車場は、乗用車250台・障害者用2台・マイクロバス用8台の設備です。今回の視察は、坂戸市の組合加入申出を受けて実施したものであり、今後は加入条件等について十分な検討が必要と考えられます。その後11月19日に全員協議会が開催され、加入条件案について検討されました。今後、組合1市3町の議会承認も必要となるため、しばらく時間がかかると思われます。（小峰）